



第56回磐梯町町民体育祭開催！



9月7日に町民体育祭がおこなわれました。昨年は中止だったため、2年ぶりの開催となりました。（私にとっては初めての参加でした！）子どもも大人もわいわいと交流しながら地域対抗で行われる大運動会は、地域のコミュニティ形成に大きく寄与している大事な行事だなあ、と感じました。と同時に「参加地区が少なくなった」「以前はもっと盛り上がっていた」という声も多く聞こえ、いろいろな方々があはしたらい、こうしたらい、というアイデアを話していることも心強く思いました。「何のために町で体育祭を行うのか」を改めて整理し、これからのあり方についてもみなさんと共に考えてよりよい形で実現していければと考えておりますのでよろしくお願いします。

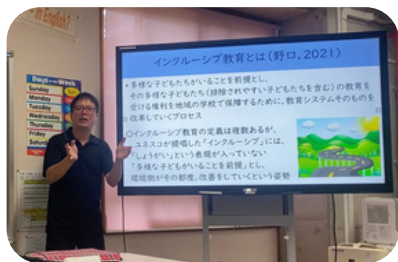
9月に取り組んだこと

〈グラデーションセンター研修〉



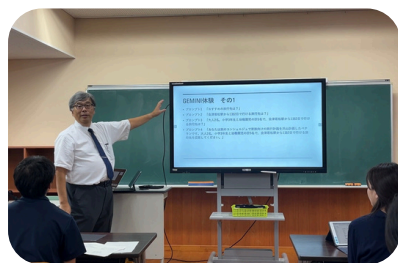
ボーク重子氏「非認知教育ワークショップ」職員×保護者

9月5日、ボーク重子さんによる第2回非認知能力ワークショップが幼稚園保育所の職員向けに行われ、9月27日には教職員と保護者が一緒に学ぶ機会がもたれました。子どもたちを共に育てる仲間として同じ内容を同時に学ぶことの意義は大きかったと感じています。研修後アンケートの中でも、非認知能力に関する理解が向上したことや、学んだことを家庭でも実践できていること、日々の気持ちのコントロールも前向きになってきているなどの変化も見られています。



前川圭一郎氏「多様性時代のユニバーサルデザイン」

9月22日、第一小学校の教職員を中心に、学校全体の学びをユニバーサルにしていくためにはどのようなアプローチや考え方ができるとよいのか？ということについて白梅学園の前川圭一郎さんと学びました。医学モデルではなく社会モデルで考えていくこと、ポジティブな行動支援（PBS）を土台とした学校づくりについて、どのような声かけを心がけると子どもたちの行動が変わっていくのか、などを学ぶ機会となりました。磐梯町の教職員は後からでも学べるようにアーカイブ動画を残しています。



大森康正氏「生成AIを実際に使ってみよう！」

9月29日、磐梯中学校の教職員向けに生成AIを使ってみるワークショップが行われました。講師は上越教育大学の大森康正さんをお願いし、生成AIの基本のキを実際に使いながら教えていただき、生成AIが学校にもたらす可能性や、プロンプトの書き方のコツ、ハルシネーションを抑制する体験、授業改善にどう活かせるか？などを学ぶことができました。研修後アンケートでも「生成AIに対する印象が改善した」と全員の方が回答しました。まずは使ってみることからですね！

ラーケーションの導入について検討しています。

「ラーケーション」とは、「Learning（学習）」×「Vacation（休暇）」を合わせた造語ですが、児童生徒が、平日に保護者等（家族構成員など）の休暇に合わせて、校外（家庭や地域）で**体験的な活動や探究的な活動を自ら考え、企画し、活動することができる機会を確保する制度**のことを言います。この制度を導入すると、学校を「欠席扱い」にすることなく、家族で校外へ学びに行くことが可能になります。ただし、あくまでも「学びとなる活動か」ということを申請時に校長先生が承認してこそその実現ですのでご注意ください。要項等ができましたらまたご案内させていただきます。



(株)ウィザスと包括連携協定調印

9月2日、株式会社ウィザスと磐梯町の包括連携協定調印式が執り行われました。日本語を学ぶ外国人の方々と磐梯町で働き手を探している企業との連携の他に、教育委員会としても、子どもたちとの異文化交流を通して、多様性や共に生きることを学ぶ機会をつくってまいりたいと思っています。その取り組みについてもまたご報告いたします。



秋の全国交通安全運動と避難訓練

9月21日から30日までが秋の交通安全運動でした。ご協力くださったみなさまありがとうございました。また、29日には中央公民館で避難訓練を行いました。こちらも講座にいらしていたみなさまにご協力いただき感謝いたします。



みんなでつくった幼稚園運動会

9月27日、磐梯幼稚園の運動会が町民体育館で行われました。コロナ後初めて年少・年中・年長が一堂に会しての開催となった上に、天候に左右されない体育館での実施と、初めて尽くしの運動会となりましたが「町全体でつくってるみたい！」という保護者の声も聞かれた、涙あり笑いあいの素敵な運動会でした。楽しい時間をありがとうございました。



敬老会で幼稚園児がお祝いしました

9月13日に開催された「敬老会」で、幼稚園児も歌と踊りで長寿のお祝いをしました。参加されたみなさまは、微笑ましく手を叩いて一緒に楽しんでくださっていました。このような世代を超えた交流ができる機会をこれからも大切にしていきたいと心から思います。



中学生が職業体験にやってきました

9月24・25日と、磐梯中学校2年生が職業体験をしに、いろいろな職場に行きました。磐梯町でも幼稚園や小学校で中学生が「はたらくこと」を経験し、学ぶことができたようです。磐梯町以外の地域にも広く出かけて行った中学生も多くおりお金のためだけではない働く意義について、それぞれ考える良い機会となりました。ご協力ありがとうございました！



「授業を語る会」におじゃましました

9月5日に、磐梯第二小学校の「授業を語る会」におじゃましてきました。この会は、教職員同士が日々の授業での出来事や相談事などをざっくばらんに共有したり、アイデアを出し合ったりする時間だと聞いて、校長先生にお願いして参加させていただいたのですが、とにかく楽しい時間でした。先生方が子どもたちのことを想い、迷いながらも前向きに実践を進めていることや、それによる子どもたちの変化を喜び合う姿は、こちらも元気になる、嬉しい時間でした。



教育委員会内・大ミーティングをおこないました

今年度が始まってから、ずーっとやりたいなあ、と思っていた、教育委員会の職員が集まっての大ミーティングを、半年が経つ9月25日にやっと実現できました。ちょっと遅かったなあ、と思いつつも、今年度からスタートした0-15教育基本構想「あたらしい磐梯の教育」の理念について改めて説明したり、教育係と生涯学習係と再デザインセンターが課を超えて考える必要があるテーマについて、小グループで意見を出し合う時間をもったりしました。磐梯町教育委員会では、学校を中心としたまちづくり「スクール・コミュニティの醸成」を進めるために、地域での活動と学校での学びが融合していけるような機会を多くつくれたらと思っています。子どもだけでなく大人も、「豊かに学び続ける人であるために」、共に歩めたら嬉しいです。

